



SPR-8000

取扱説明書

ニッポンエレクトロ株式会社

このたびは、「消音ピアノユニット SPR-8000」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願い申し上げます。

尚、本書の内容は改善のために、予告なしに変更することがあります。

目 次

1.	SPR-8000の特長	1
2.	使用上のご注意	2
3.	各部の名称	3
4.	使用方法	5
5.	デモ演奏を聴く	6
6.	音色設定	7
7.	エフェクト、トランスポーズ設定	9
8.	メトロノームを使う	11
9.	録音と再生	13
9-1	録音	13
9-2	再生	14
10.	鍵盤連打設定	16
11.	設定と調整	17
11-1	チューニング	18
11-2	センサー調整	19
11-3	センサー自動調整	20
11-4	タッチ調整	21
11-5	ペダル調整	22
11-6	鍵盤深さ設定	23
11-7	黒鍵音量調整	24
11-8	鍵盤ごとのレベル調整（左44鍵盤）	25
11-9	鍵盤ごとのレベル調整（右44鍵盤）	26
11-10	設定を初期化する	27
12.	MIDI	29
12-1	MIDIインプリメンテーションチャート	31
13.	本体仕様	32
14.	故障かな?と思ったら	33
15.	末永くご使用頂くために	35
16.	アフターサービス	35

1. SPR-8000の特長

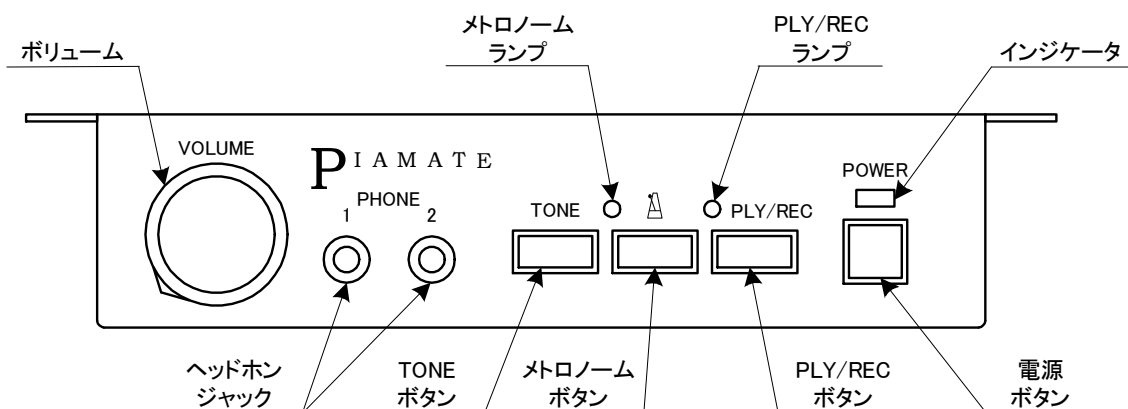
- 鍵盤の浅い位置から深い位置まで幅広い範囲で発音しますので、よりアコースティックピアノに近いタッチを実現しています。
- 浅い位置や深い位置の高速なトリル奏法やスタッカートが可能です。
- 打鍵の強弱による発音タイミングの違いをアコースティックピアノに近い発音で実現しています。
- 押されている鍵盤の弦の共鳴やダンパーペダルを踏み込んだときの弦の共鳴を再現していますので、豊かな響きを楽しめます。
- ピアノッシモからフォルテッシモまで幅広い音量変化を表現します。
- ダンパーペダルはハーフペダルに対応しています。
- お手持ちのピアノの状態に合わせてタッチや連打の調整が可能です。
- ボタン操作で8音色、その他鍵盤操作で80音色を選択できます。
- 内蔵のメトロノームに合わせて演奏ができます。
- 演奏の録音、再生が可能です。また、再生速度の変更も可能です。
- 専用ケーブルにてパソコンと接続ができます。パソコン接続により、本機はMIDI音源やMIDIキーボードとして使用可能です。
- ライン出力によりオーディオ機器との接続ができます。
- 最大同時発音数は108音です。

2. 使用上のご注意

消音ピアノユニットを末永くご愛用頂くために、次の注意事項を守ってご使用下さい。

- 付属されているACアダプタ以外でのご使用や、AC100V以外でのご使用は、絶対におやめ下さい。
- ACアダプタの抜き差しは、コードを引張ったり、ぬれた手では行わないで下さい。また、コードを無理に曲げたり、重い物を乗せないで下さい。
- ACアダプタおよびユニット間の各ケーブルを抜き差しされる場合は、必ず電源をオフにして行って下さい。
- 長時間ご使用にならないときは、必ずACアダプタを抜いて下さい。
- ヘッドホンプラグの抜き差しは、プラグを持って行って下さい。無理に力をかけるとコードの断線により音が出なくなることがあります。
- 高温多湿な場所は避けて下さい。また、本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 強い衝撃を与えたり、異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュース、酒など）を入れないように注意して下さい。
- 分解や改造はしないで下さい。
- お手入れの際は、必ずACアダプタをコンセントから抜き、柔らかい布で軽く拭き取って下さい。また、ベンジンやシンナーで拭くことはお避け下さい。

3. 各部の名称



音源BOX前面

ボリューム

ヘッドホンの音量、ライン出力の音量を調節します。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。

ヘッドホンジャック

ヘッドホンを接続します。同時に2つのヘッドホンが使用できます。

TONEボタン

発音する音色を選択します。

ピアノ、ブライトピアノ、メローピアノ、エレクトリックピアノ1、FMエレクトリックピアノ、チャーチオルガン、ウォームオルガン、パーカッシブオルガン

メトロノームボタン・メトロノームランプ

メトロノームボタン

メトロノームの設定、開始、停止するボタンです。

メトロノームランプ

メトロノームの動作中、設定中をランプで表示します。

PLY/RECボタン・PLY/RECランプ

PLY/RECボタン

録音/再生を開始、停止するボタンです。

PLY/RECランプ

録音中、再生中をランプで表示します。

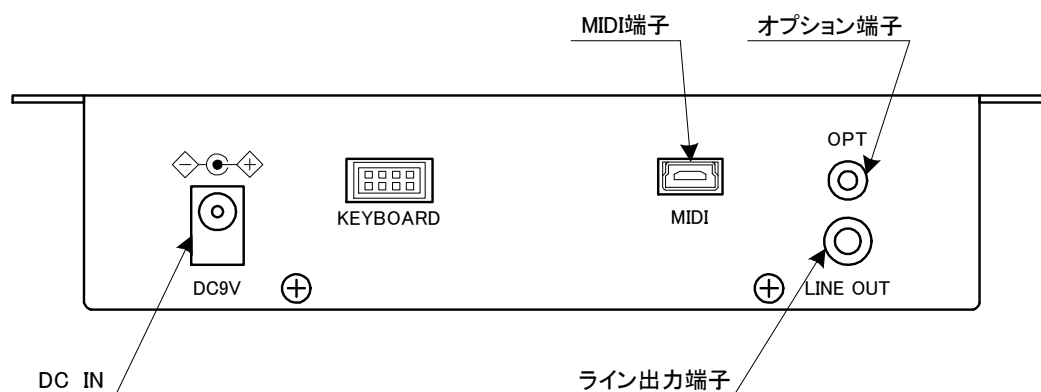
インジケータ

電源を投入すると点灯します。また、このランプは音源BOXの発音表示も兼ねており、音源BOXが発音しているときに点滅します。

電源ボタン

電源のオン/オフを行います。

【注意！】 ご使用後は必ず電源をお切り下さい。



音源BOX背面

DC IN

付属のACアダプタを接続します。

【注意！】 付属品以外のACアダプタは、絶対に使用しないで下さい。

MIDI 端子

専用MIDIケーブルを使用してパソコンやMIDI機器と接続できます。

ライン出力

音源BOXの音を外部オーディオ機器へ出力します。

音源BOX前面にあるボリュームにて出力レベルを調節できます。

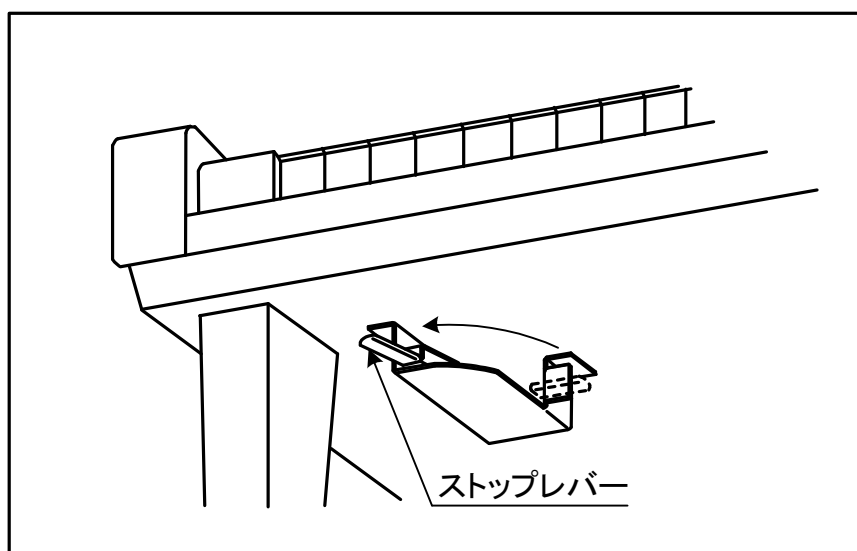
オプション端子

拡張用のオプション端子です。

4. 使用方法

本製品は、取り付け完了後に初期設定を実施しなければ、正常に動作致しません。鍵盤やペダルの移動量はユニットを取り付ける場所で異なりますので、その取り付け場所に最適な鍵盤の発音位置やペダルのオン／オフの位置決めを初期設定で自動的に行います。尚、初期設定は取り付ける技術者や調律師が行います。

- (1) ピアノの実音を消すときは、ストップレバーを手前に引きます。元に戻すと、通常のピアノ演奏ができます。



ストップレバーの操作

- (2) ACアダプタがコンセントに差し込まれていることを確認して下さい。
- (3) ボリュームが最小であることを確認して、電源ボタンをオンにします。電源ボタンをオンする際、センサーを最適化しますので、鍵盤やペダルには触れないようにして下さい。
- (4) ヘッドホン（付属）をヘッドホンジャックへ接続します。
- (5) TONEボタンで好みの音色を選択します。
- (6) ボリュームをお好みの位置に合わせヘッドホンで演奏をお楽しみ下さい。ダンパーペダルのみハーフペダルに対応しています。

5. デモ演奏を聴く

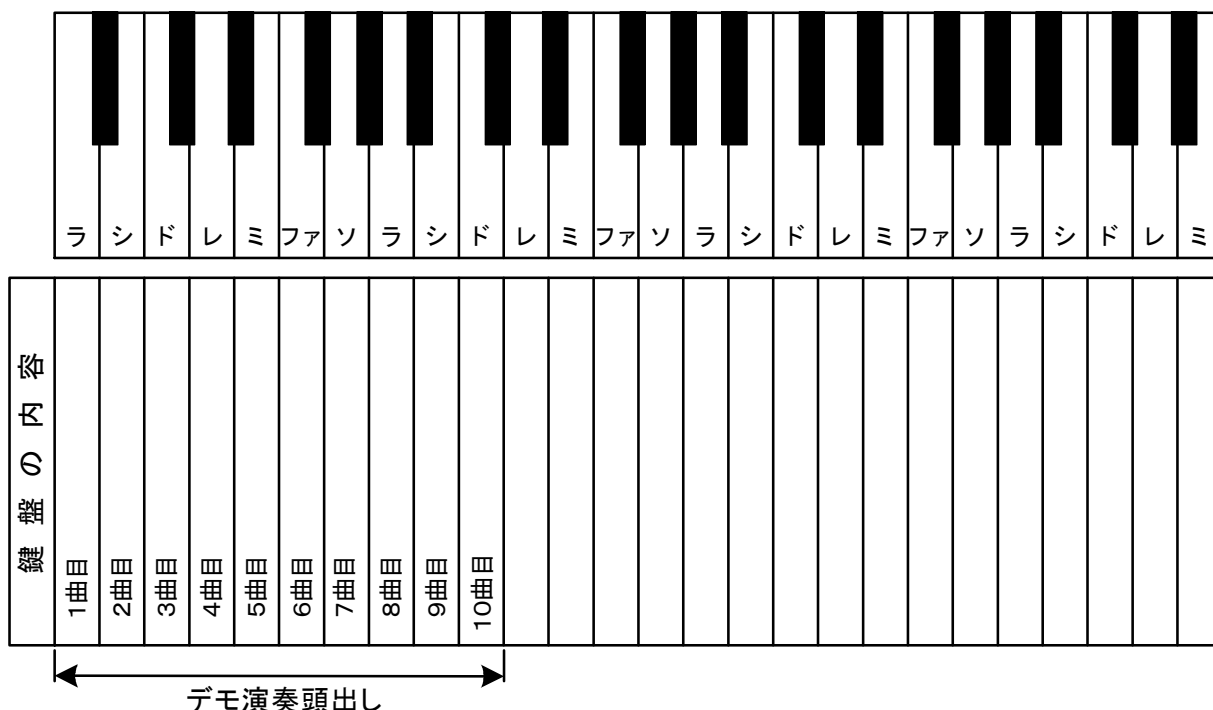
音源BOXには生演奏を収録したデモ曲が10曲入っています。

曲順	曲名	作曲者
1	プレリュード(平均律第1巻 第1番)	J. S. バッハ
2	エリーゼのために	L. v. ベートーヴェン
3	月光(第一楽章)	L. v. ベートーヴェン
4	Shenandoah	アメリカ民謡
5	Danny boy	アイルランド民謡
6	I love you, porgy	ジョージ・ガーシュイン
7	Someday my prince will come	フランク・チャーチル
8	All the things you are	ジェローム・カーン
9	Someone to watch over me	ジョージ・ガーシュイン
10	My wild irish rose	チャンセラー・オルコット

設定方法

- (1) TONEボタンを押しながらPLAY/RECボタンを押すと、PLAY/RECランプが点灯します。
- (2) PLAY/RECランプの点灯後、1曲目から順に演奏を開始します。デモ演奏中は下記鍵盤を押すことにより、曲を選択することができます。デモ演奏中は曲を選択する鍵盤以外の鍵盤で演奏が可能です。
- (3) デモ演奏を終了する時は、PLAY/RECボタンをもう一度押して下さい。

鍵盤左側



6. 音色設定

音源BOXのボタン操作で8種類の音色を設定することができます。
鍵盤の操作で88種類の音色を設定することができます。
音色の中にはエフェクトが初めから設定されているものもあります。

音源BOX設定方法（8音色からの選択）

TONEボタンを押す度に、音色が変化します。
ピアノ → ブライトピアノ → メローピアノ → エレクトリックピアノ1 →
FMエレクトリックピアノ → チャーチオルガン → ウォームオルガン →
パーカッシブオルガンの順番で変化し、ピアノに戻ります。

鍵盤設定方法（88音色からの選択）

- (1) TONEボタンを押したまま次頁鍵盤表より好みの音色を選択します。
- (2) TONEボタンから指を離します。この時、選択した最後の音色が設定されます。

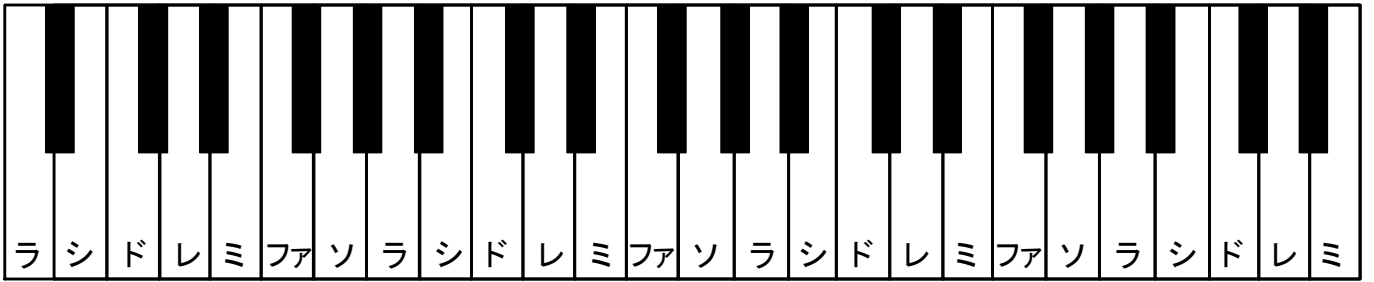
【注意！】

- ・ 設定した音色は電源を切るとピアノに戻ります。
- ・ 音色を選択したまま（鍵盤を押下している状態で）TONEボタンを離すと、選択した音色によってはエフェクトが鳴り続けることがあります。もし鳴り続けた場合は電源を入れ直して下さい。
- ・ 下記音色は初めからロータリーのエフェクトがオンになっていますので、ソフトペダルはS l o w ⇄ F a s t の切り替えになります。

ウォームオルガン、パーカッシブオルガン、ドローバーオルガン1、
ドローバーオルガン2、ロックオルガン

音色設定エリア

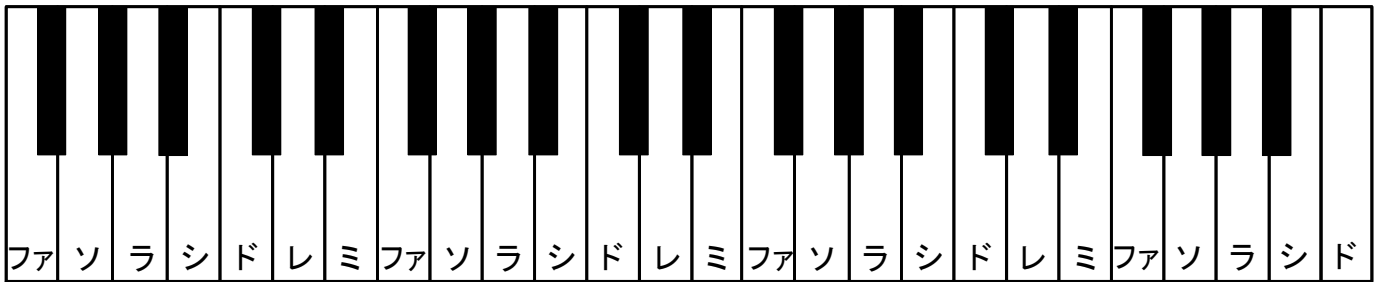
鍵盤の内容	
1	ピアノ
2	ブライトピアノ
3	メロピアノ
4	ピアノ+ストリングス
5	ピアノ+コーラス
6	ブライトピアノ+リバーブ
7	エレクトリックピアノ1
8	FMエレクトリックピアノ
9	ハーブシコード
10	チャーチオルガン
11	ウオームオルガン
12	パークアップオルガン
13	エレクトリックピアノ2
14	ホンキートンク
15	パンローズ
16	クラピネット
17	チェレスタ
18	グロッケン
19	オルゴール
20	ビブラホーン
21	サントウール
22	ドローパーオルガン1
23	ドローパーオルガン2
24	ロックオルガン
25	スモールチャーチオルガン
26	リードオルガン
27	フレンチアコーデオ
28	ハーモニカ
29	バンドネオン
30	ギター(ナイロン弦)
31	ギター(スチール弦)
32	エレキギター(ジャズ)
33	コーラスギター
34	オーバードライブギター
35	ディストーションギター
36	アコースティックエレキベース
37	フィンガリングエレキベース
38	スラップベース
39	シンセベース
40	バイオリン
41	チェロ
42	トレモロストリングス
43	ハーブ
44	ストリングス



鍵盤左端

音色設定エリア

45	スローストリングス
46	ストリングス+ホルン
47	シンセストリングス
48	コーラス
49	コーラス2
50	シンセボーカル
51	トランペット
52	トロンボーン
53	チューバ
54	フレンチホルン
55	プラストランペット
56	シンセブラス1
57	シンセブラス2
58	シンセブラス3
59	シンセブラス4
60	ソプラノサクソ
61	アルトサクソ
62	テナーサクソ
63	バリトンサクソ
64	イングリッシュホルン
65	バスーン
66	クラピネット
67	ピッコロ
68	フルート
69	リコーダー
70	パンフルート
71	オカリナ
72	シンセリード2(鯨歯状波)
73	シンセリード5(チャラング)
74	シンセリード6(声)
75	シンセリード8(ベース+リード)
76	シンセパッド2(ウオーム)
77	シンセパッド3(ボリシンセ)
78	シンセパッド4(人声)
79	シンセパッド5(ボウ)
80	シンセパッド7(ハロー)
81	クリスタル
82	アトモスフィア
83	ブライトネス
84	エコー
85	シタール
86	琴
87	バグパイプ
88	スチールドラム



鍵盤右端

7. エフェクト設定、トランスポーズ設定

7-1 エフェクト設定

エフェクト設定では以下の設定ができます。但し、音色を変更すると音色ごとの標準値に戻ります。

- ① リバーブ : 種類（ルーム・ホール）と深さを設定
- ② コーラス／ロータリー : コーラスとロータリーの選択
コーラスはレベルの設定ができます。
- ③ ディレイ : ディレイレベルの設定

リバーブ : 音に残響を加えます。ルームは室内の響きでホールはコンサートホールの響きになります。

コーラス : 音に広がりを加えます。

ロータリー : ロータリースピーカの効果を加えます。

S l o w ⇄ F a s t の切り替えはソフトペダルで行います。

ディレイ : やまびこのような反響を加えます。

ロータリーとディレイは同時に設定出来ません。どちらかの設定となります。

ロータリーを設定している音色にディレイを設定する場合は、一旦ロータリーをオフ（ロータリー無しを選択）してからディレイの設定をして下さい。

（初めからロータリーが設定されている音色もあります。音色設定の項目参照）

設定方法

- (1) T O N E ボタンを押しながらメトロノームボタンを押します。
設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、2つのボタンは押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 次頁鍵盤表より `リバーブ`、`コーラス／ロータリー`、`ディレイ`、から好みの設定を選択します。
- (3) リバーブ、コーラス、ディレイを選択した場合は `レベルの設定` でレベルの変更が可能です。但し、ロータリーを選択した場合はレベル変更できません。
- (4) 2つのボタンから指を離します。この時、(2) で選択した状態が設定されます。
- (5) (2) の操作で★印の鍵盤を押すことで標準値にリセットされます。

【注意！】

- ・ロータリーを選択するとソフトペダルで S l o w ⇄ F a s t の切り替えができるようになりますが、ソフトペダル本来の機能はなくなります。また、ディレイの効果もなくなります。
- ・(5) の操作ではトランスポーズ設定もリセットされます。
- ・電源を切るとリセット値に戻ります。

7-2 トランスポーズ設定

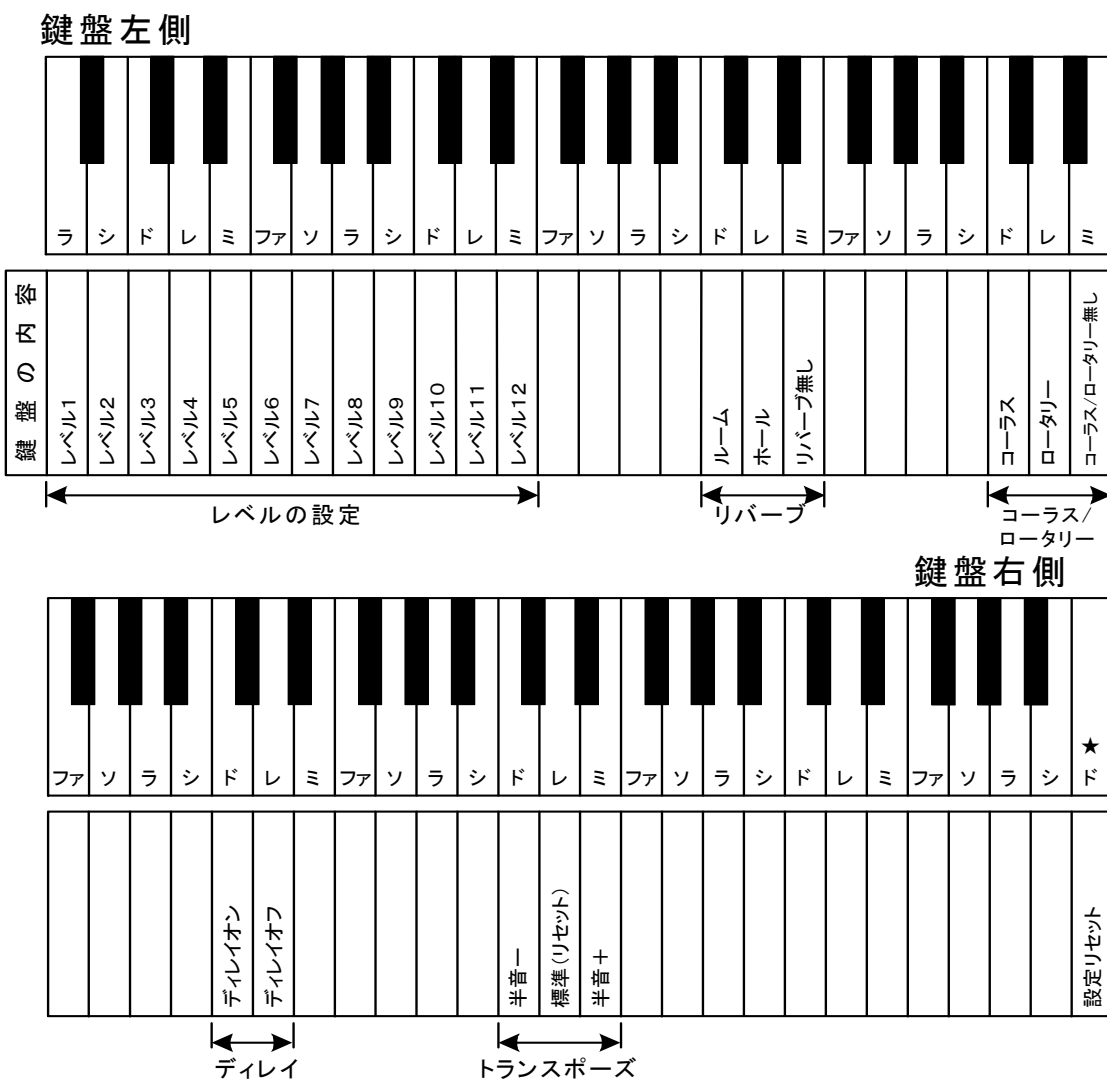
トランスポーズ設定は半音単位で移調ができます。設定範囲は2オクターブです。

設定方法

- (1) TONEボタンを押しながらメトロノームボタンを押します。
設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、2つのボタンは押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より好みで半音-、半音+を選択します。選択する毎に半音ずつ移調されます。
設定をリセットする場合は、標準を選択します。
- (3) 設定が終了したら、2つのボタンから指を離します。

【注意！】 電源を切るとリセット値に戻ります。

MIDI出力にはトランスポーズ設定は反映されません。



8. メトロノームを使う

メトロノーム音のON/OFF、拍子やテンポ、メトロノームの音量といった各設定を行います。

メトロノームを鳴らす／止める

- (1) メトロノームボタンを押すとメトロノームランプが点灯して、メトロノームが鳴り始めます。
- (2) メトロノームを止める場合は、メトロノームボタンをもう一度押して下さい。

メトロノームの設定

- (1) メトロノームランプが点滅するまで、メトロノームボタンを長押しすると、メトロノームが鳴り始めます。
- (2) 次頁鍵盤表の`拍子エリア`から拍子を選択します。
- (3) 次頁鍵盤表の`テンポエリア`からテンポを選択します。
テンポの選択方法は、テンポエリアに割り付けられている数字を3回選択します。設定できるテンポは30～250の範囲です。

・例1 テンポを132にしたい！

↓
初めに1を選択。
↓
次に3を選択。
↓
最後に2を選択。

・例2 テンポを60にしたい！

↓
初めに0を選択。
↓
次に6を選択。
↓
最後に0を選択。

- (4) 次頁鍵盤表の`音量エリア`からメトロノームの音量を選択します。
- (5) もう一度メトロノームボタンを押すと、メトロノームランプが点滅から点灯に変わり、設定が確定されます。尚、メトロノーム音は鳴り続けます。

[注意！]

- ・設定した内容は電源を切っても保持されます。
- ・テンポの選択で範囲外を選択した場合は無効になり、設定されません。

9. 録音と再生

演奏した内容の録音と再生が行えます。連弾や反復練習などに便利です。

9-1 録音

使用方法

- (1) 録音したいバンクの鍵盤を押しながら、PLY/RECランプが点滅するまで、PLY/RECボタンを長押しします。これで、録音の準備が完了しました。
- (2) 演奏を行います。演奏が始まると同時に録音を開始します。
- (3) 演奏が終了したらPLY/RECボタンを押します。同時にPLY/RECランプが消灯して、選択されたバンクに収録されます。
- (4) (1)の操作において、バンクの鍵盤を押さなくても録音は可能です。その場合、PLY/RECボタンを長押しします。但し、自動的にバンク1に録音されます。

録音データ消去

録音した内容は、バンクを選択し、右ペダルを踏みながらPLY/RECボタンを長押しすることでチャイムが鳴り、消すことができます。また、「11-10設定を初期化する」を行われた場合、録音データは全て消去されます。

【注意！】

- ・ バンク数は10バンクです。録音したバンクに新たに録音操作を行うと前回の録音内容は消えてしまいます。
- ・ 録音中の音色切り替え、エフェクト設定、トランスポーズ設定は出来ません。
- ・ メトロノームは録音されません。
- ・ 録音容量は1バンク約10,000音ですが、ペダル操作も含まれます。録音中に録音容量がいっぱいになると、録音は自動停止されます。
- ・ 録音した内容は電源を切っても保存されます。

9-2 再生

使用方法

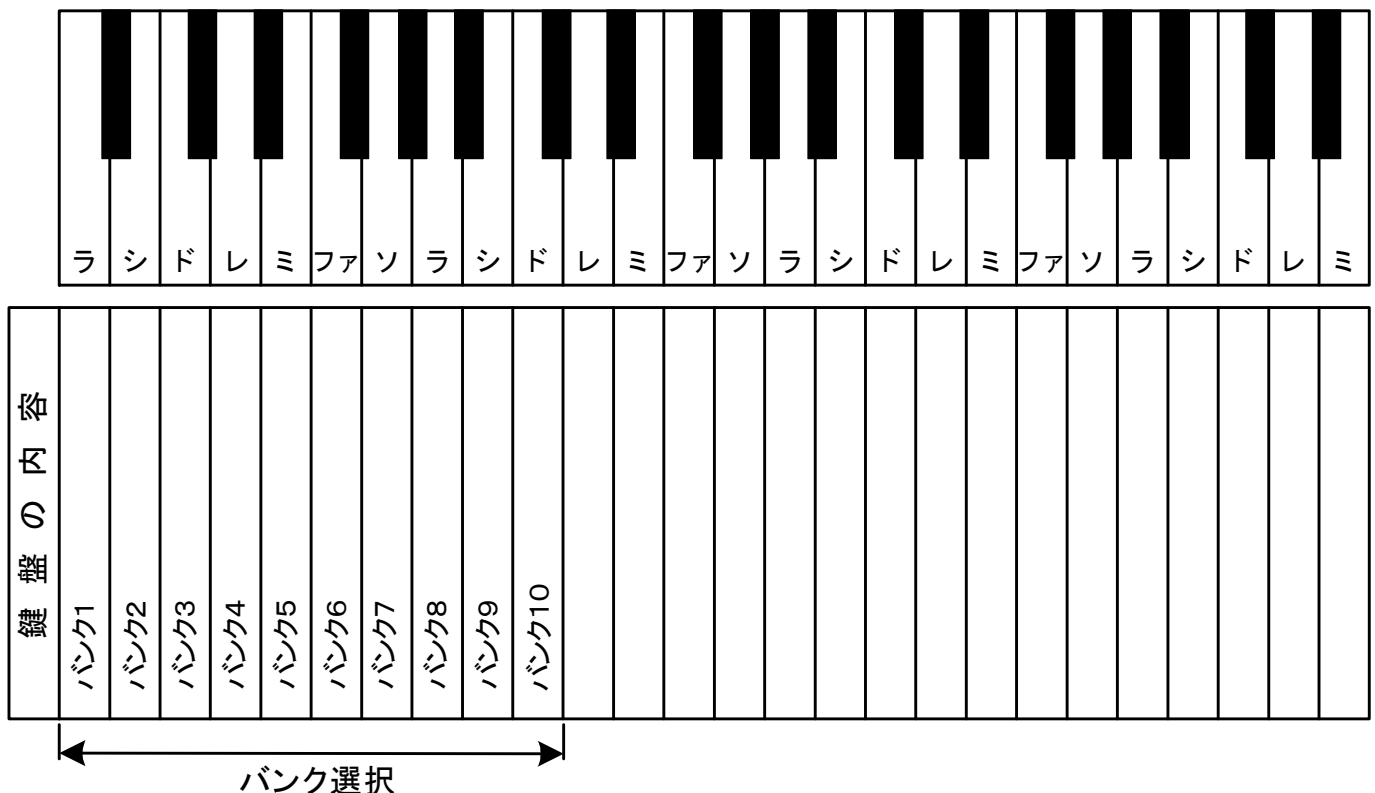
- (1) PLY/RECボタンを押します。PLY/RECランプが点灯して、約1秒後に演奏が再生されます。この場合、バンク1のデータが再生されます。再生中は下記鍵盤を押すことにより、バンクを選択することができます。再生中も鍵盤からの演奏が可能です。
- (2) 再生を終了したい時は、PLY/RECボタンをもう一度押します。同時にPLY/RECランプが消灯して、再生が止まります。

【注意！】

- ・ 再生中はバンク指定の鍵盤及び次頁の変速エリア内の鍵盤は操作部となる為、弾いても音は出ません。
- ・ バンク1にデータがない場合は演奏が再生されません。その他のバンクを再生したい場合は、再生したいバンクの鍵盤を押しながらPLY/RECボタンを押します。

※再生速度0.5倍～2倍まで変更できます（次頁の変速再生をご覧ください）。

鍵盤左側



変速再生

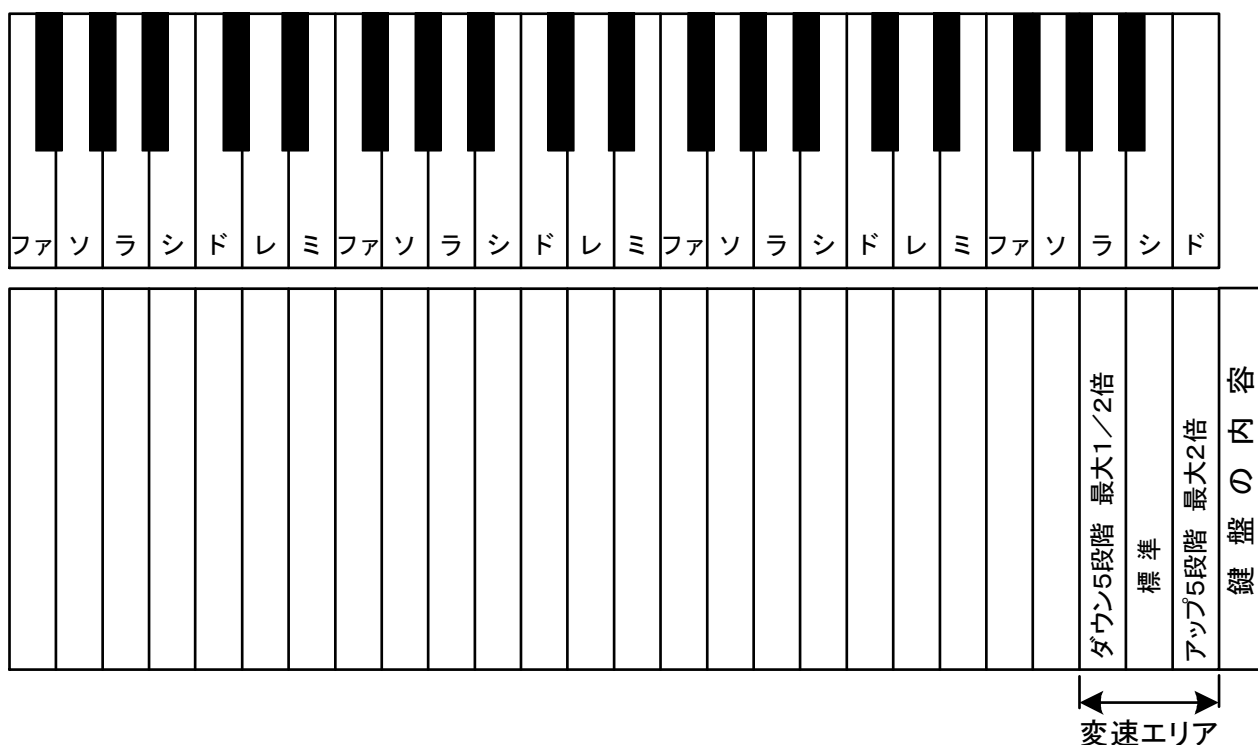
録音した演奏は再生速度を変えて聴くことができます。変速範囲は録音した演奏を標準として、0.5倍～標準～2倍まで±5段階です。

段階	-5	-4	-3	-2	-1	±0	+1	+2	+3	+4	+5		
速度	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0		
	遅い	←					標準	→					速い

設定方法

- (1) PLY/RECボタンを押して録音した演奏を再生します。
- (2) 下記鍵盤表の`変速エリア`よりアップ鍵盤、ダウン鍵盤を操作してお好みの速度で再生して下さい。

鍵盤右側



10. 鍵盤連打設定

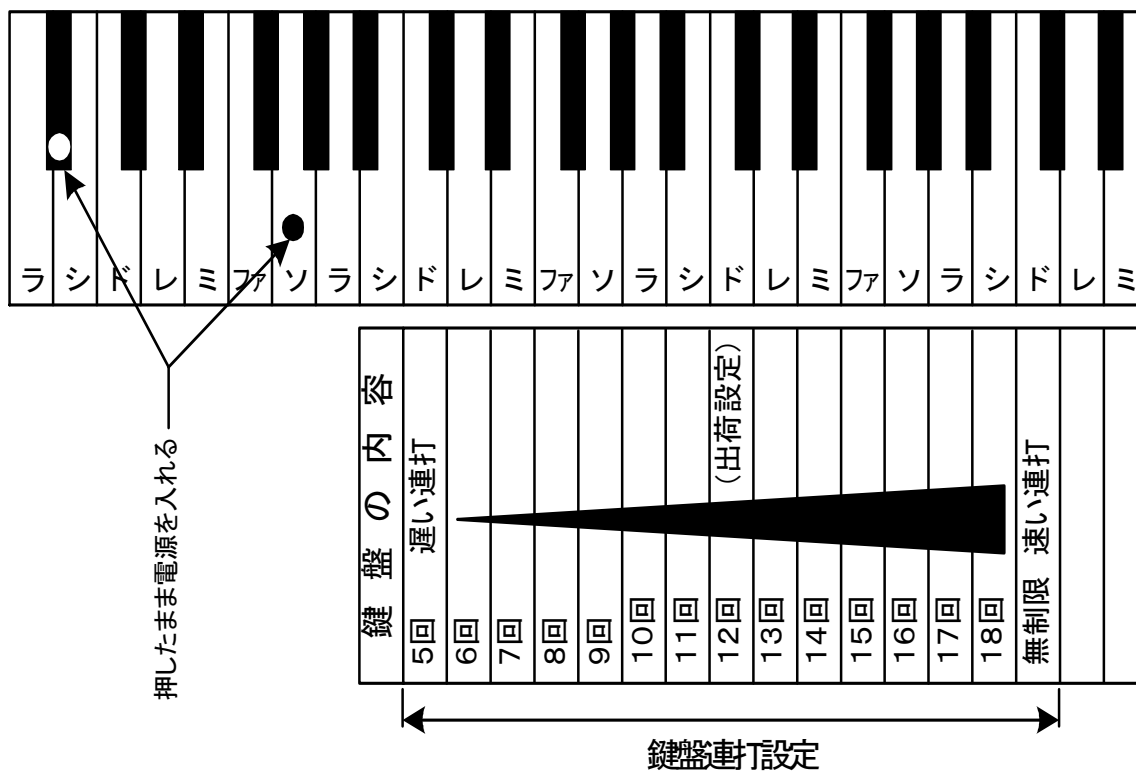
1秒間に連打できる回数を設定します。お手持ちのピアノの連打性能と同じ性能にしたい場合や回数を増やしたい場合などに設定します。

設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印と●印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より好みの回数を選択します。
- (3) 選択が終了したら、○印と●印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した回数に設定され、電源を切っても変更されません。

【注意！】 連打性能が少ないピアノで回数を多く設定しますと、たまに大きな音が出るときがあります。

鍵盤左側



1 1 . 設定と調整

必要に応じてSPR-8000の設定を変更することができます。

【注意！】 取り付け完了後、調律師の方がお客様のピアノに合わせて設定の変更を行います。また、「11-10 設定を初期化する」を実施されますと、正常に動作をしなくなりますので、ご自身で設定を変更される場合や、初期化をされる場合は、事前にお買い上げ店へご相談下さい。

1 1 - 1 チューニング

出荷時は 4 4 0 Hz に設定されています。下記の操作で変更が可能です。

設定方法

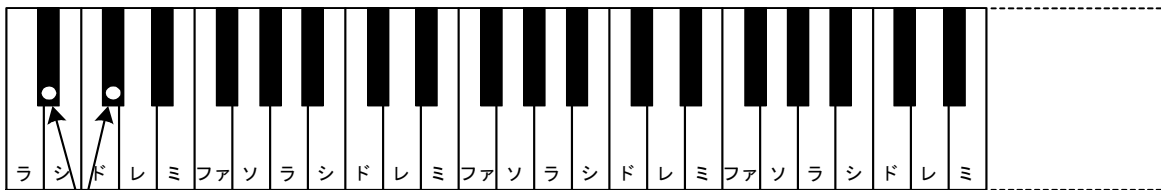
- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表の `チューニングの設定` より●印の鍵盤にて本機が発音する音程を、+1、-1の鍵盤を使って設定します。

+1の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5 Hz (最大+13 Hz)
-1の鍵盤は1回の打鍵毎に約0.5 Hz (最大-13 Hz)

- (3) チューニングが終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に合わせた音程が設定され、電源を切っても変更されません。

【鍵盤表】

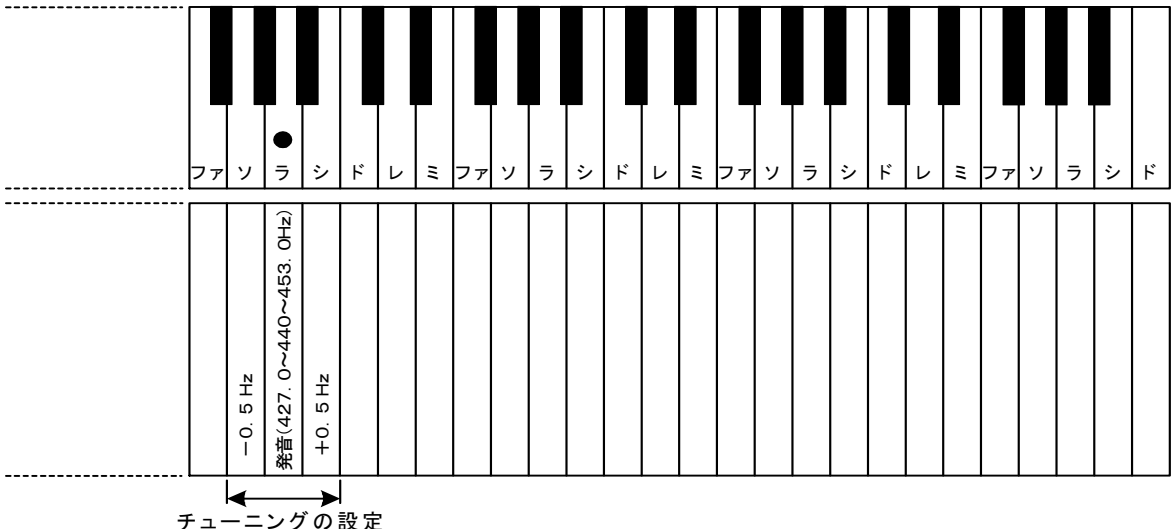
鍵盤左側



押したまま電源を入れる

鍵盤の内容	これを押すと440Hzに戻る
-------	----------------

鍵盤右側



チューニングの設定

1 1 - 2 センサー調整

メンテナンス等でキーボードユニットやペダルユニットのセンサー感度を再調整する必要がある場合に実施します。ピアノの状態やセンサーの状態は、温度や時間によって時事変化していきます。最適なタッチ感を得るために、定期的にセンサー調整を行って下さい。

設定方法

- (1) TONEボタン、PLY/RECボタンを同時に押しながら電源を入れます。メトロノームランプとPLY/RECランプが交互に点滅して、調整モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) 鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。打鍵する順番は問いません。尚、再調整が必要な鍵盤だけでも調整は可能です。
- (3) ペダルを一番深い位置まで一定の強さで踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらもう片方のペダルを踏み込みます。踏み込む順番は問いません。尚、再調整が必要なペダルだけでも調整は可能です。
- (4) 打鍵や踏み込みが完了しましたら、PLY/RECボタンを押します。メトロノームランプとPLY/RECランプが消灯して、調整モードが終了したことをチャイムでお知らせします。

【注意！】 必ずPLY/RECボタンを押して、センサー調整を終了します。
誤って電源ボタンを押された場合、センサー調整は完了していませんので、最初からやり直します。

1 1 - 3 センサー自動調整

鍵盤センサーの感度を自動で調整します。もし、発音に違和感がある場合は、機能を無効にして下さい。

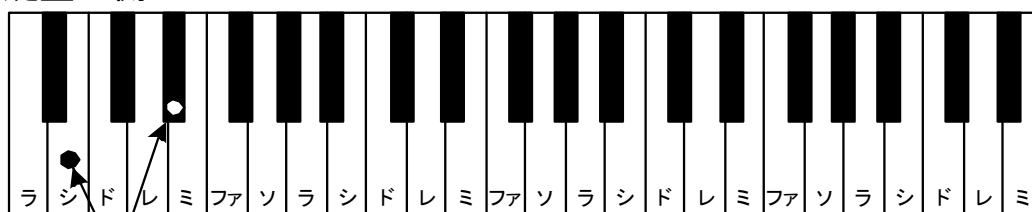
※出荷設定では機能が有効になっています。

設定方法

(機能を無効にする場合)

●印と○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。機能が無効になったことをチャイムでお知らせします。

鍵盤左側



押したまま電源を入れる

(機能を有効にする場合)

●印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。機能が有効になったことをチャイムでお知らせします。

鍵盤左側



押したまま電源を入れる

11-4 タッチ調整

ピアノの種類や鍵盤の重さによって弱音から強音までの音量の変化が出にくい場合があります。お手持ちのピアノに合わせて音量の変化を最適にしてください。

設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印と●印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (1) 下記鍵盤表より、適切なタッチ感になる「タッチ調整範囲」を選択します。代表的な例として、下記を目安に調整して下さい。
ヤマハ製 : 3～5
カワイ製 : 2～3
中国製 : 5～7
- (2) タッチ調整範囲の選択が終了したら、○印と●印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択したタッチ調整に設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左側



押したまま電源を入れる

タッチ調整範囲																				
1	重い																			
2																				
3																				
4	(出荷設定)																			
5																				
6																				
7																				
8	軽い																			

1 1 - 5ペダル調整

各種ペダルの機能がオンする深さを調整します。

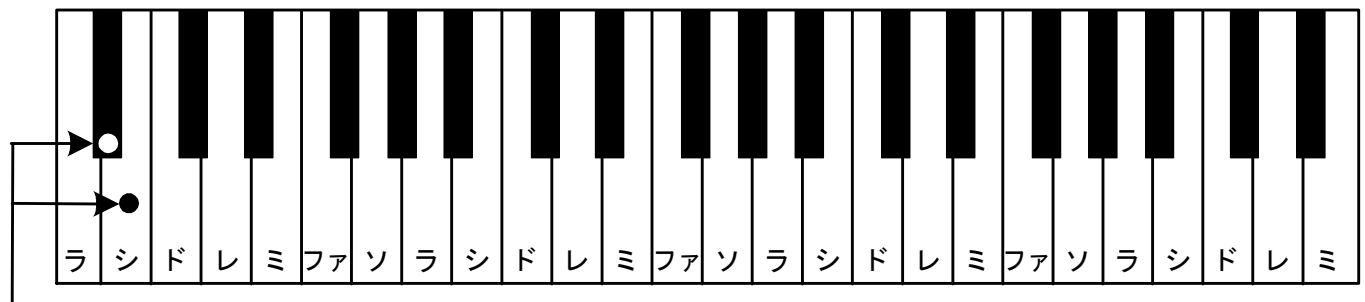
設定方法

- (1) ○印と●印の鍵盤を押しながら電源を入れます。調整モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○と●の鍵盤は押さえたまま次の操作に移ります。
- (2) 調整するペダルを踏み、機能をオンさせたい深さで止めます。
- (3) そのままの状態ですべてのペダルに対応しているボタンを押します。チャイムが鳴り、ペダルの深さを記憶します。
- (4) ○印と●印の鍵盤から指を離します。

対応ボタン

PLY/RECボタン	ダンパー(サスティーン)ペダル
TO NEボタン	ソフトペダル

鍵盤左側



押しのまま電源を入れる

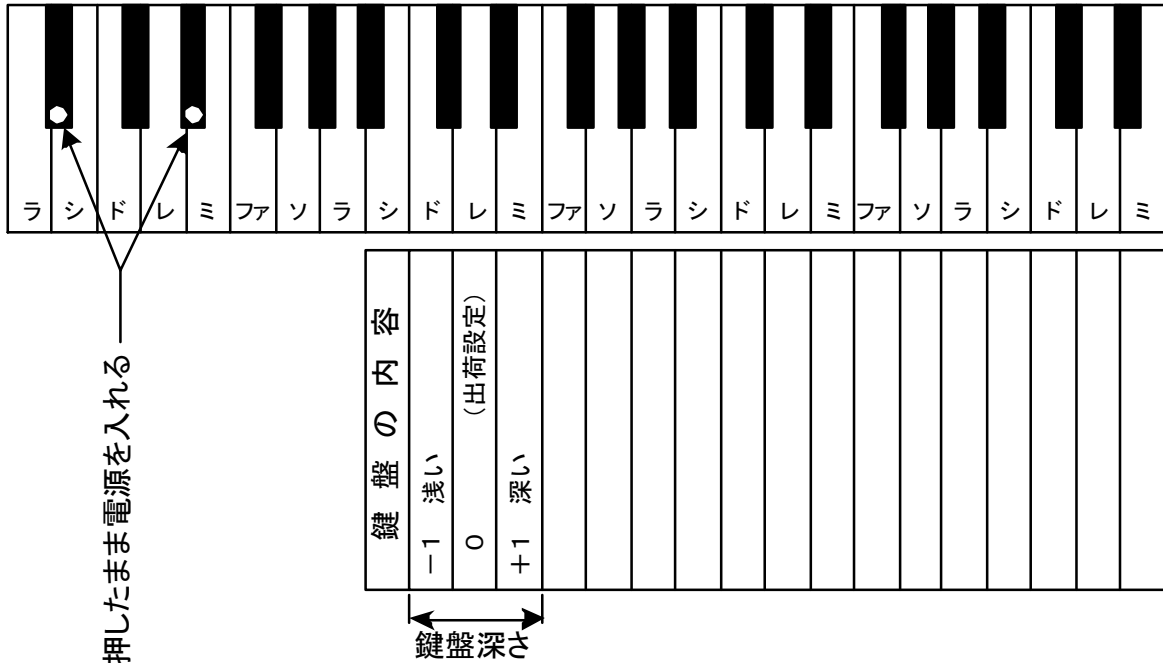
1 1 - 6 鍵盤深さ設定

鍵盤を弾いたときの発音する鍵盤の深さを設定します。

設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より、発音させたい深さの鍵盤を押します。
- (3) ○印の鍵盤から指を離します。この時、選択した鍵盤の深さが設定されます。

鍵盤左側



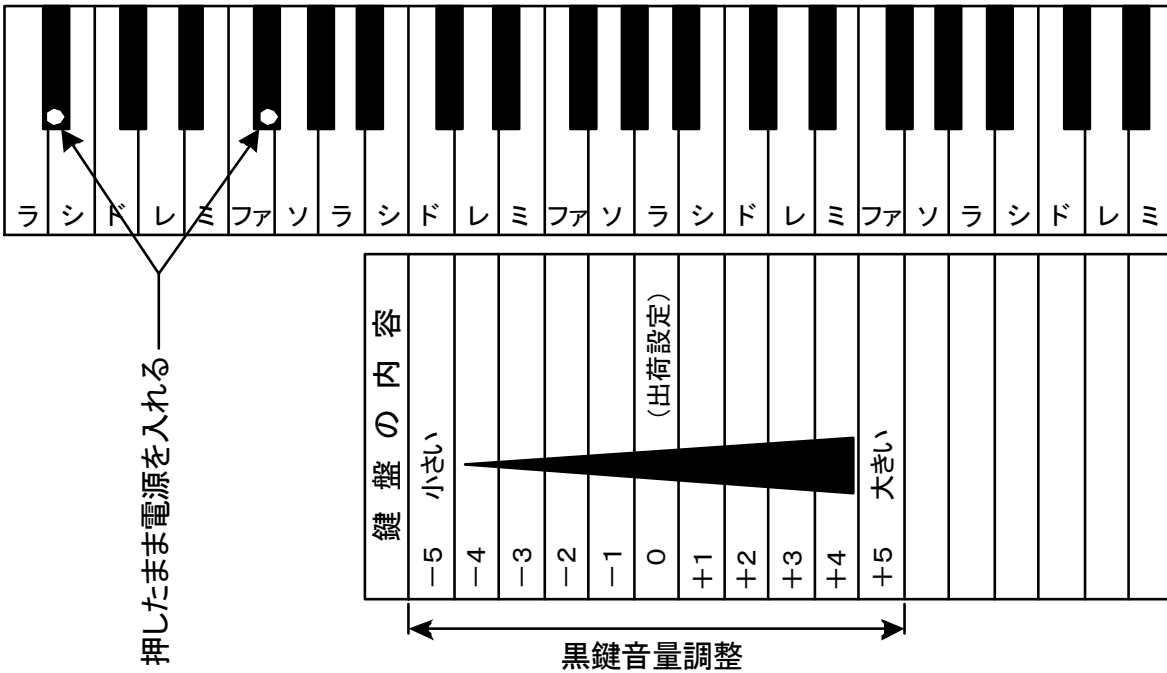
1 1 - 7 黒鍵音量調整

白鍵と黒鍵の音量バランスを調整することができます。

設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。設定モードになったことをチャイムでお知らせします。尚、○印の鍵盤は押したままで次に操作に移ります。
- (2) 下記鍵盤表より、白鍵音量に合った`黒鍵音量`を選択します。
- (3) 黒鍵音量の選択が終了したら、○印の鍵盤から指を離します。この時、最後に選択した黒鍵音量に設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左側



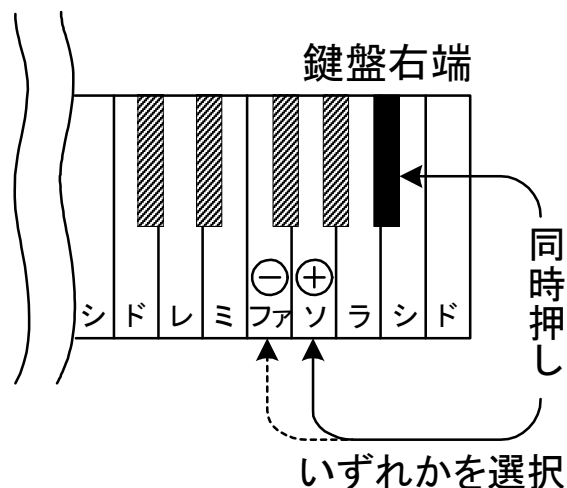
1 1 - 8 鍵盤ごとのレベル調整（左44鍵盤）

左側の44鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±5段階です。（出荷設定±0）

設定方法

- (1) レベルを上げたい時は黒鍵と+印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と-印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、黒鍵と白鍵は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 左側の44鍵盤より、音量レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1度押されることで、音量レベルが(1)で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、
変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

鍵盤左端



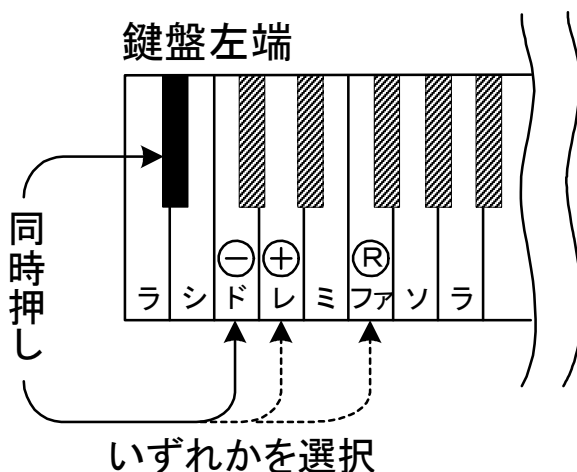
1 1 - 9 鍵盤ごとのレベル調整（右44鍵盤）

右側の44鍵盤において鍵盤ごとに音量レベルの調整ができます。
各鍵盤の調整範囲は±5段階です。（出荷設定±0）

設定方法

- (1) レベルを上げたい時は黒鍵と+印の白鍵を押しながら電源を入れます。
レベルを下げたい時は黒鍵と-印の白鍵を押しながら電源を入れます。
設定モードになったことをチャイムお知らせします。尚、黒鍵と白鍵は押したままで次の操作に移ります。
- (2) 右側の44鍵盤より、レベルの変更をしたい鍵盤を押します。
1度押されることで、音量レベルが(1)で選択した側に1段階変更されます。
- (3) 変更を終了したら、押したままの鍵盤から指を離します。この時、
変更した値が設定され、電源を切っても変更されません。

全88鍵盤の調整内容をリセットしたい時は、黒鍵とR印の白鍵を押しながら電源を入れることで出荷設定（±0）に戻ります。



1 1 - 1 0 設定を初期化する

全ての設定を出荷時の状態に戻すことができます。

【注意！】 本設定を行いますと正常に動作しなくなります。復帰させるには初期設定が必要ですので、実施される前に必ずお買い上げ店へご相談下さい。
初期化を実施した場合には、次ページの初期設定を実施して下さい。また、タッチ調整も実施して下さい。

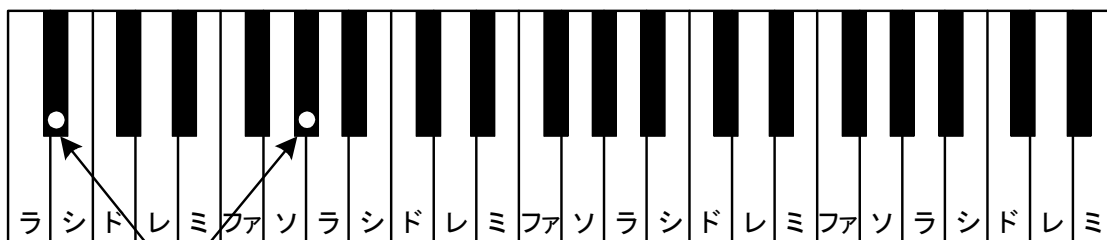
出荷設定内容

音色：ピアノ
エフェクト：リバーブ = ルーム、レベル1
コーラス = なし
ロータリー = なし
ディレイ = なし
トランスポーズ：0
メトロノーム：拍子=4、テンポ=120、音量=レベル3
録音曲：全て消去
鍵盤連打設定：12回
初期設定：クリア
チューニング：440Hz
センサー調整：クリア
センサー自動調整：有効
タッチ調整：4
ペダル調整：クリア
鍵盤深さ設定：0
黒鍵音量調整：0
鍵盤ごとのレベル調整：全88鍵盤±0

設定方法

- (1) ○印の鍵盤を押しながら電源を入れます。初期化開始したことをチャイムでお知らせし、メトロノームランプとPLY/RECランプが点滅します。
- (2) ○印の鍵盤から指を離し、メトロノームランプとPLY/RECランプの点滅が完了した後、電源を切ります。

鍵盤左端



押したまま電源を入れる

初期設定操作方法

- (1) 設定を初期化した後、電源を入れるとメトロノームランプとPLAY/RECランプが交互に点滅して、初期設定モードになったことをチャイムでお知らせします。
- (2) 鍵盤を一番深い位置まで一定の強さで全ての鍵盤を打鍵します。鍵盤が戻る時に発音されますので、確認できましたら次の鍵盤を打鍵します。
- (3) ペダルを一番深い位置まで一定の強さで踏み込みます。ペダルが戻る際にピアノ音色以外の音が鳴りますので、確認できましたらもう片方のペダルを踏み込みます。
- (4) 全鍵盤の打鍵と両ペダルの踏み込みが完了しましたら、PLAY/RECボタンを押します。メトロノームランプとPLAY/RECランプが消灯して、初期設定モードが終了します。
- (5) 打鍵されていない鍵盤、踏み込まれていないペダルがあればチャイム音は鳴らずに、鍵盤は音程で、ペダルはピアノ音色以外の音が鳴るので、音程の打鍵やそのペダルを踏み込んで、再度PLAY/RECボタンを押して下さい。

【注意！】 設定を初期化するとタッチ調整も初期化されるため、ピアノに合わせて再度調整して下さい。

12. M I D I

オプションの専用M I D Iケーブルを使用してパソコンやM I D I機器との接続が可能です。

- ・ パソコン接続用 : S P R - U M C
- ・ M I D I機器接続用 : S P R - M I C

(パソコンと接続する)

接続することでパソコンのM I D IデータをS P R - 8 0 0 0の音源で鳴らすことができます。また、S P R - 8 0 0 0で演奏した情報をM I D Iデータとしてパソコンに送信して、データの編集や保存ができます。

(M I D I機器と接続する)

接続することでM I D I機器によって演奏したM I D IデータをS P R - 8 0 0 0の音源で鳴らすことができます。また、S P R - 8 0 0 0で演奏したM I D IデータをM I D I機器の音源で再生することができます。

M I D Iチャンネルの仕様

S P R - 8 0 0 0では、鍵盤による演奏データをM I D Iチャンネル1へ出力、録音したデータの再生はM I D Iチャンネル2を使用、ペダルの共鳴音はM I D Iチャンネル3と4を使用しています。外部M I D I機器からS P R - 8 0 0 0へM I D Iデータを送る際は、チャンネル1、2、3、4を避けてM I D Iメッセージを送信して下さい。チャンネル1にデータを入力して音色が変更された場合は、T O N Eボタンの再投入を行えば、元の音色に戻すことができます。

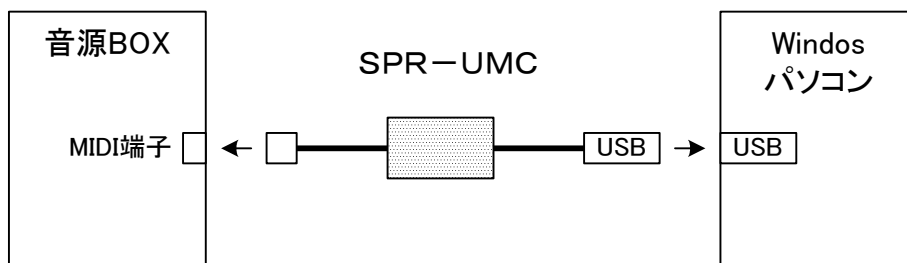
M I D Iとは

M u s i c a l I n s t r u m e n t D i g i t a l I n t e r f a c eの略で、楽器の演奏情報や音色の切り換え情報などを伝送することができる世界統一の規格です。

S P R - 8 0 0 0はG M (G e n e r a l M I D I) スタンダードに準拠しており、市販のG M対応演奏データなどをM I D I機器より演奏することができます。但し、G Mオンのコマンドを送るとエフェクトなどの設定ができなくなります。

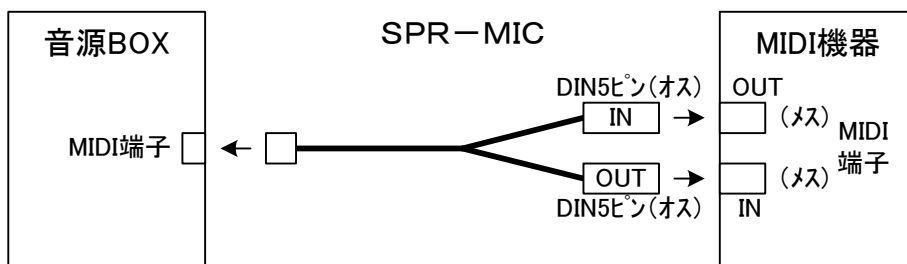
パソコンとの接続例

音源BOXのMIDI端子とパソコンを接続します。
接続すると自動的にMIDIドライバがインストールされます。
(Windows対応OS: XP、VISTA、7)



MIDI機器との接続例

音源BOXのMIDI端子とMIDI機器を接続します。



12-1 MIDIインプリメンテーションチャート

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック電源ON時	1	1-16	
チャンネル設定可能	×	1-16	
モード電源ON時	3	3	
メッセージ	×	×	
代用	*****		
ノート	21-108	0-127	
ナンバー: 音域	*****	0-127	
ベロシティ ノート・オン	○	○	
ノート・オフ	×	×	
アフター キー別	×	×	
タッチ チャンネル別	×	○	
ピッチ・ベンド	×	○	
コントロール 64	○	○	ダンパーペダル
チェンジ 66	×	○	ソステヌートペダル
67	○	○	ソフトペダル
00		○	バンクセレクト
01		○	モジュレーション
05		○	ポルタメントタイム
06		○	データエントリ
07		○	ヴォリューム
10		○	パン
11		○	エクスプレッション
65		○	ポルタメント オン/オフ
91		○	リバーブ
93		○	コーラス
120		○	オール サウンド オフ
98, 99		○	NRPN LSB, MSB
100, 101		○	RPN LSB, MSB
プログラム	○	○	
チェンジ:設定可能範囲	*****	0-127	
エクスクルーシブ	○	○	
:ソング・ポジション	×	×	
コモン :ソング・セレクト	×	×	
:チューン	×	×	
リアル :クロック	×	×	
タイム :コマンド	×	×	
:ローカルON/OFF	×	×	
その他 :オール・ノートオフ	×	○	
:アクティブセンシング	×	×	
:リセット	×	×	
備考			

モード1 : オムニ・オン、ポリ モード2 : オムニ・オン、モノ ○ : あり
 モード3 : オムニ・オフ、ポリ モード4 : オムニ・オフ、モノ × : なし

13. 本体仕様

同時最大発音数	108音	
音色選択	ピアノ、ブライトピアノ、メローピアノ、エレクトリックピアノ1、FMエレクトリックピアノ、チャーチオルガン、ウォームオルガン、パーカッシブオルガン、その他（80音色から選択可能）	
エフェクト	リバーブ	ルーム、ホール（12段階調整）
	コーラス	1種類 12段階調整
	ロータリー	Slow/Fast
	ディレイ	12段階調整
トランスポーズ	±24半音	
メトロノーム	拍子：なし、2、3、4、5、6、8 テンポ：30～250 音量：5段階調整	
録音・再生	録音：10バンク、録音容量 約10,000音/バンク 再生：変速再生（0.5～2倍）	
チューニング	±13Hz（427～440～453Hz）	
ペダル調整	ON/OFF位置調整、ダンパー（ハーフペダル対応）	
鍵盤連打設定	15段階調整	
鍵盤深さ設定	3段階調整	
タッチ調整	8段階調整	
黒鍵音量調整	±5段階調整	
鍵盤ごとのレベル調整	±5段階調整	
デモ演奏	10曲	
外部端子	アナログ	ヘッドホンジャック×2、ライン出力×1
	デジタル	MIDI（IN/OUT）オプションケーブル使用
電源電圧	DC+9V（専用ACアダプタ）	
付属品	ヘッドホン、ACアダプタ、取扱説明書（本書）	
オプション	USB-MIDIケーブル、MIDIケーブル、スピーカ	

●製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

14. 故障かな？と思ったら

●メトロノームランプとPLY/RECランプ点滅のまま全く動作しない

- ・初期設定状態ですので、全鍵盤をフォルテでの打鍵と全ペダルの踏み込みを行った後、PLY/RECボタンを押して下さい。

●電源が入らない

- ・ACアダプタはコンセントに差し込まれていますか？
- ・音源BOX裏のDC INにACアダプタジャックが差し込まれていますか？
- ・音源BOXのインジケータは点灯していますか？
- ・それでも電源が入らない場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、修理をお買い上げ店へ依頼して下さい。

●音が鳴らない

- ・鍵盤を弾いて音源BOXのインジケータが点滅しますか？
- ・ボリュームが最小になっていませんか？
- ・ヘッドホンジャックは最後まで差し込まれていますか？

●特定の鍵盤で音が鳴らない、大きい、小さい

- ・センサー調整がずれている可能性がありますので、センサー調整を行って下さい。それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談下さい。

●音が抜ける

- ・ダンパー（右）ペダルを踏みながら、多くの鍵盤を弾く場合などに同時発音数が足りなくなり音が消えることがあります。これは故障ではありません。

●チャイム音が鳴らない

- ・指定された以外の鍵盤も押されたまま電源を入れていませんか？
- ・押さえたままの鍵盤から指が離れていませんか？

●消音していてもピアノから生音がもれる

- ・ストップレバーを手前に引いていますか？
- ・和音を強く弾かれた場合に、ピアノの音ももれることがあります。

●ペダルの機能がオンしたまま、オンしない

- ・センサー調整やペダル調整がずれている可能性がありますので、センサー調整やペダル調整を行って下さい。それでも直らない場合は、お買い上げ店へご相談下さい。

●メトロノームのテンポが設定されない

- ・テンポの選択で4回選択したり、3回選択していない場合は設定されません。
その場合はもう一度最初の手順から設定し直して下さい。

●エフェクトのディレイが効かない

- ・ロータリーをオンにしていますか？
ロータリーとディレイは同時に設定することができません。
一旦ロータリーをオフにしたあと、再度ディレイのレベル設定を行ってみて下さい。

●設定したエフェクトが動作しない

- ・音色を切替えませんでしたか？
音色を切替えると標準値に戻ります。
- ・電源をオフしませんでしたか？
電源をオフすると音色はピアノに戻ります。

●デモ曲にエフェクトが効いている

- ・デモ曲再生する前にエフェクト設定していませんか？
エフェクト設定しているとデモ曲にも有効になります。

15. 末永くご使用頂くために

本製品の性能を損なうことなく、末永くご使用頂くために、ピアノの「調律」や「整調」と同様に、下記のお手入れを定期的に行っていただきますようお願いいたします。

1. キーボードユニットやペダルユニットのセンサー部の清掃
2. キーボードユニットの高さ調整やペダルユニットの位置調整
3. キーボードユニットやペダルユニットのセンサー調整

16. アフターサービス

ご購入後、下記の期間、正常な使用方法において発生した故障につきましては、無償で修理いたします。故障した場合にはお買い上げになった販売店へご連絡下さい。

	保証期間
本 体	1 年間
ヘッドホン	6 ヶ月
ACアダプタ	6 ヶ月

保証書

保証規定

本製品は、当社の厳密な製品検査に合格したものです。お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従い故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店に本保証書を添えてお申し出下さい。尚、持ち込み修理扱いの製品は、販売店へのお客様持ち込み、持ち帰り、又は送料のご負担を条件とさせていただきます。

保証期間におきましても、次の場合には、有償修理となります。

1. 本保証書のご提示がない場合。
2. 本保証書にお買い上げ販売店の記名、および押印がなされていない場合。
3. 本保証書をお買い上げ販売店のご承認なく、訂正した場合。
4. 誤使用、改造、又は当社指定以外の所で修理・改良等をなされた場合。
5. お買い上げ後の輸送・移動・落石衝撃等、お客様のお取扱いが適正でない為に発生した故障・損傷の場合。
6. 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
7. 本製品の説明書に記載させた使用方法、および注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。
8. 運賃等の諸経費は、お客様にご負担頂く場合があります。

※本保証書は、本製品が日本国内で使用された場合に限り有効です。本保証書は再発行しませんので、大切に保存して下さい。

型 式	SPR-8000	製造番号	
お買い上げ日	年 月 日		
保証期間	本体	12ヶ月	
	ヘッドフォン ACアダプタ 【持ち込み修理】	6ヶ月	
お 客 様	お名前	様	
	ご住所 〒 -	TEL() -	
お買い上げ 販売店	店 名	印	
	住 所	TEL() -	

ニッシンエレクトロ株式会社 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町4-4-32
TEL 042-465-9321(代)